

令和2年度
群馬県立都市公園指定管理者評価報告書

【観音山ファミリーパーク】

【多々良沼公園】

令和3年2月

群馬県立都市公園指定管理者評価委員会
事務局：群馬県県土整備部都市計画課

目 次

1. 指定管理者制度の概要と評価の目的	1
2. 群馬県立都市公園指定管理者評価委員会	2
(1) 評価委員会の概要	
(2) 評価方法	
(3) 評価基準	
(4) 評価委員会実施状況	
(5) 公園利用者アンケートの実施状況	
3. 公園指定管理者の総合評価結果	4
(1) 評価結果	
(2) 評価総評	
4. 公園指定管理者の細目評価結果	5
(1) 観音山ファミリーパーク	
(2) 多々良沼公園	

1 指定管理者制度の概要と評価の目的

公の施設の管理に民間の知識・能力を活用して住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ること等を目的に平成15年の地方自治法（昭和22年法律第67号）改正によって「指定管理者制度」が導入され、従来、公社・事業団等に委託先が限定されていた公の施設の管理について、民間事業者も管理運営主体となることができることとなった。

これに伴い、平成18年度から群馬県県土整備部では導入を開始し、現在、所管する県立都市公園5公園において、指定管理者制度を導入している。

指定管理者の業務内容については、公園管理者^{※1}と指定管理者^{※2}との間で締結された協定書及び仕様書に基づき履行確認がなされているが、指定管理者制度は、公の施設を一定の裁量を付与した上で民間事業者へ委ねる制度であり、履行確認のみならず、管理・運営に対する適切な評価・モニタリングが重要となる。

「群馬県立都市公園指定管理者評価委員会」（以下「評価委員会」という。）は、第三者の立場から指定管理者の業務実施状況を客観的に評価するとともに、今後の業務改善に反映させるために設置されたものである。

※1 公園管理者：公園を設置管理する者（群馬県県土整備部都市計画課・土木事務所）

※2 指定管理者：群馬県公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例（平成16年群馬県条例第50号）第6条に基づき知事が指定した公園を管理運営する者

本報告書の対象となる県立都市公園及び指定管理者は、次のとおり。

■本報告書対象県立都市公園

公園名	観音山 ファミリーパーク	多々良沼公園
公園種別	広域公園	総合公園
供用開始 経緯	平成15年5月 供用開始 平成18年9月 現形	平成27年11月 供用開始 現形 —
供用面積	60.3 h a	98.03 h a

■本報告書対象県立都市公園指定管理者

公園名	指定管理者	指定期間
観音山ファミリーパーク	NPO法人 KFP友の会	平成30年4月1日～令和3年3月31日
多々良沼公園	JA邑楽館林千代田町緑化組合	平成30年4月1日～令和3年3月31日

2 群馬県立都市公園指定管理者評価委員会

(1) 評価委員会の概要

評価委員会は、対象となる全公園について総合的に評価を実施する本部委員と、公園利用者の視点でそれぞれの公園のみの評価を実施する地元委員により組織される。委員の構成は次表のとおり。

本部委員 ※敬称略		地元委員 ※敬称略	
委員長	・小林 享 (任期開始～終了) (学識経験者)	○観音山ファミリーパーク	藤井 春俊 (任期開始～終了)
委員	・南 賢二 (任期開始～終了) (学識経験者)	深井 稔 (任期開始～終了)	高見澤 佳子 (任期開始～終了)
	・寺田 哲夫 (任期開始～終了) (社会保険労務士)	○多々良沼公園	大舘 雅美 (任期開始～終了)
	・鴻上 まつよ (R2.4.1～終了) (中小企業診断士)	福田 連一 (任期開始～終了)	廣瀬 大志 (任期開始～終了)
	・小林 孝子 (H31.4.1～終了) (群馬県女性団体連絡協議会 理事、ぐんま地域活動連絡協議会 副会長)		

(2) 評価方法

以下の方法により評価を行った。

○現地調査、指定管理者ヒアリング、評価シートによる評価・とりまとめ

※現地調査時に、「指定管理者によるセルフモニタリング」及び「県によるモニタリング」の確認も含む。

○年度評価の作成

また、評価項目は以下のとおり。

○項目ごとの評価

・維持管理業務	①清掃点検 (屋内部分：建物・トイレ等) ②清掃点検 (屋外部分：園路・駐車場・広場等) ③清掃点検 (休憩施設：ベンチ等) ④清掃点検 (遊具) ⑤植物管理 (中高木) ⑥植物管理 (低木) ⑦植物管理 (芝生) ⑧植物管理 (花壇) ⑨斜面地・園路沿いの植栽地 ※観音山ファミリーパークのみ
・運營業務	①利用実績・運営企画 ②広報・広聴 ③県民の参画
・自主事業	

○総合評価

各公園の特徴を考慮の上、評価項目ごとの重みの違いを勘案し、総合的に評価したもの

(3) 評価基準

次表の基準により4段階で評価を行った。

評価	説明
A	仕様書等に基づいて立てられた事業計画どおりの成果・実績があり、加えて施設設置目的及び指定管理業務の向上に向け、独自の創意工夫を行っている。
B	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行が、ほぼ満足されている。
C	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行すべき事項の中に、取組の弱いものがある。
D	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の内容に不履行がある。

(4) 評価委員会実施状況

年度	回数	日時	場所	議事	
令和2年度	第1回	令和2年 7月 7日	多々良沼公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 ・改善事項進捗状況報告 ・モニタリングシート確認 ・令和元年度 管理運営方針確認・事業計画書確認 ・管理運営状況に関する意見交換 	
		7月10日	観音山ファミリーパーク		
	第2回	令和2年 7月28日	県庁		<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度評価の確定（敷島公園、金山総合公園、観音山ファミリーパーク、多々良沼公園） ・令和2年度評価及び平成30～令和2年度総括評価の仮確定（観音山ファミリーパーク、多々良沼公園）
	第3回	令和2年11月18日	観音山ファミリーパーク		<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 ・改善事項進捗状況報告 ・モニタリングシート確認 ・管理運営状況に関する意見交換
11月19日		多々良沼公園			
第4回	令和3年 2月 3日	県庁	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度評価及び平成30～令和2年度総括評価の最終確定（観音山ファミリーパーク、多々良沼公園） 		

(5) 公園利用者アンケートの実施状況

公園利用者アンケートは、指定管理者の管理・運営状況及び利用状況を把握するため、統一内容で各公園の利用者を対象として一斉にアンケート調査を行ったものである。

調査実施日	調査方式
令和2年 8月6日（木）～9月9日（水）（予定）	公園管理者・指定管理者 直接配布・回収方式

なお、各公園では、指定管理者により年間を通して常設定置式のアンケートボックスやご意見箱を設置し、公園利用者の声を収集し、管理・運営にいかしている。

3 公園指定管理者の評価結果

公園名	令和2年度 総合評価※ ¹	令和2年度 項目ごとの平均評価※ ²
	観音山ファミリーパーク	A
多々良沼公園	B	B

※¹ 総合評価とは、各公園の特色を考慮の上、評価項目ごとの重みの違いを勘案し総合的に評価したものである。

※² 項目ごとの平均評価とは、各管理項目ごとに評価した詳細の評価である。

※³ 個別の意見・指摘事項については、「4 各公園指定管理者の細目評価結果」に記載。

- 総合評価結果は、観音山ファミリーパークについては「A」、多々良沼公園については「B」であり、総じて、仕様に基づく適切な管理・運営がなされたと評価できる。
- 項目ごとの評価平均の結果は、観音山ファミリーパークについては「A」、多々良沼公園については「B」であり、総じて、仕様に基づく適切な管理・運営がなされたと評価できる。
- 各公園でそれぞれの施設特性をいかした自主事業や県民参画にも力を入れており、意欲的に業務に取り組んでいることが伺える。

4 各公園指定管理者の細目評価結果
(1) 観音山ファミリーパーク

評価項目		評価	個別意見・個別指摘事項等	
			評価できる点	今後検討すべき点
維持 管理 業務	清掃	屋内	A 〔清掃〕 ○屋内 ・建屋外観も目立った劣化も見られず、大変良く、清潔感が維持されている。 ・コロナ感染症対策は勿論の事、トイレに植物の飾りを増やすなど来園者に安らぎを与えている。 ・清潔に清掃されている。花や緑を飾って快適な環境になっている。 ・管理のレベルは相変わらず高い。高水準の維持管理が行われている。	〔清掃〕 ○屋外 ・木製の通路が朽ちて危険なところがある。 ・ブルーシートを使っている看板と、駐車場入口の文字薄れの修繕が必要と思われる。 ・ベンチ全体では大きな劣化は見られなかったが、広い園内なので、来園者当たりのベンチ数の増加が必要と感じる。 〔植物管理〕 ○斜面地・園路沿いの植栽 ・法面は、業者を使った雑草処理が行われているが、鮮やかな花壇との対比で見劣り感がある。 ・今梅雨は長く続き雑草の生育に手入れが追い付かない印象であった。以降の手入れに期待する。
		屋外	A ○屋外 ・落ち葉等についても園路の清掃、芝の手入れも行き届いており、来園者に気持ちの良い場を提供している。 ・園路のまくら木などの劣化も徐々に補修してあり、努力している。 ・各種施設の経年的な維持管理が高水準かつ着実に実行されている。 ・梅雨時期の長雨により水はけが悪い園路に一部滑り易い箇所が見られたが、砂を入れる等の対応で全体としては手入れが行き届いている。	
		休憩施設	A ○休憩施設 ・ベンチ類等には特段劣化の様子は見られず、手入れが行われている。ペンキを塗り直して、環境維持に努力がうかがわれる。 ・新規導入のベンチなどは、角を無くしてから設置するなど子供の安全を考えた対策が見られた。	
		遊具	A ○遊具 ・安全管理水準は高く、利用しやすさに対する配慮も適切に行われている。 ・不具合に対応し、順次補修がされている様子で安心した。	
		競技施設	〔植物管理〕 ○中高木 ・大木の根元の踏み固めによる生育不良を防止するなど目の届いた管理が伺える。 ・葉が減りかかっていた樹木の応急対応・再生など、迅速かつ適切な対応が図られている。 ・落葉の時期でも、気持ちよく管理されている。 ・問題なく適切に実施されている。	
	植物 管理	中高木	A ○低木 ・職員により手まめに手入れされている様子が感じ取れる。 ・綺麗に剪定され、死角がなく良い。 ・一部樹木名称の札が傷んでいたが、順次新しい札への交換がされており手入れの跡が感じられる。 ・特に問題は無い。	
		低木	A ○芝生 ・広い面積にも関わらず十分な管理が行われていると感じた。 ・イノシシ被害からの復旧も進んでいる。 ・クローバーが再び増殖しつつあるが、芝生全体の管理は適切に行われている。 ・いっものながら、広い芝生の管理が充分に行われ、ゴミも無く来場者に心地よい場所を提供している。	
		芝生	A ○花壇 ・花数も量も増え園内を色鮮やかに保っている。 ・手入れがよく行き届いている。 ・次第に整備水準が上がってきている。 ・種からの育成でコストカットやボランティアの参加にもなっている。 ・園内環境の向上に向けて、苗の育成や新たな草花の植栽を試行錯誤で進めている。 ・植樹前の育成管理が非常に行き届いている。	
		花壇	A ○斜面地・園路沿いの植栽 ・急峻な斜面の草刈りも、適切に実施している。	
		斜面地・園路沿いの植栽	A	
運営 業務	利用実績・運営企画	A ○利用実績・運営企画 ・幼児や未就学児を対象とした企画事業が頻度高く開催され、ボランティアの協力を得た植生に関する企画も提供されており公園に花と緑を添える公園に雰囲気向上に寄与している。 ・ボランティアや各種団体の扱いが慣れている。新しい企画が新型コロナウイルス感染症の影響で中断しているのが残念。 ・コロナ禍の中でも、平日の賑わいを作り出す新たな試みに屋外において取り組むなど、積極的な運営企画を実施している。安全を配慮し独自のマニュアルなども作成して、工夫して活動を実施している。 ・次々と新しい企画に取り組んでいるのは賞賛に値する。 ○広報・広聴 ・SNSによる園からの直接発信の外、外部広報を利用し、新たな情報を発信を行っている。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による中止の広報・連絡についても、随時適切・着実に実施している。HPも非常に充実し、情報更新も適切に行われている。 ・利用者要望に応え園内遊具の充実もしている。 ・電子媒体を利用した公園情報の発信や地元の「地域新聞」へのイベント情報にも熱心に取り組んでいる。また、近隣住民に対しては講演内の一部をゲーボール広場として提供し地元活性化に貢献している。公園トラブルに関する苦情も聞かされていない。	○利用実績・運営企画 ・コロナ感染症による社会の外出規制や自粛もあり、大小イベントを中止せざるを得ない状況になっている。当面は開催が難しい状況が続くが再開に備え現行の開催実施者との連絡を絶やさないようお願いしている。	
	広報・広聴	A ○県民の参画 ・ボランティア委員会や「ボランティアの日」を設置し、県民に参加してもらっている。 ・園内の彩りに繋がる花の苗植込みなどにボランティア団体の支援を上手に取り込み協力を得ている。 ・バルーンアートなど一般・専門団体との連携事業を開催し幅広い年代層の参画を行っている。 ・ボランティアの方と花殻摘みなど協力して美化に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための制約はあるものの、花植えなども一部の幼稚園の参加を得て実施している。 ・コロナ禍において、出来る事を工夫して行っているように感じた。リタイヤしたその道のプロをボランティアスタッフとして活用し、県民の参加を勧めている。 ・住民からのカブトムシ提供や水上までアジサイを譲り受けに行くなど、ボランティア参加だけでなく、各地の県民との支援連携も進んでいる。 ・ぐんま緑のインタープリター協会を筆頭に多くの協力ボランティア団体の支援を受けており、園内緑化や来園者に植物を身近に感じてもらう支援の場を提供している。また最近では園を拠点とするトレイルランのボランティア受け入れを行っている。		
	県民の参画	A		
自主事業	A ・植栽ボランティアの募集など、新たな前向きな取り組みを進めている。 ・平日の集客など、新しい事業にも積極的に取り組んでいる。 ・コロナ禍を克服しつつ、多様な事業を積極的に展開している。 ・趣味の車の展示をゆったりした芝生で見られたりなど、広い敷地と駐車場を提供できる地の利を生かした新たな来園者層の開拓意欲が見られる。また、園を拠点とするトレイルランなども開催している。 ・自然観察会や草木染講座など、公園の雰囲気にも即して好評のようである。	・外からの持ち込みイベントがあるが、発信する事も大切だと思う。		
総合・その他	A ・木々も次第に増えてきており、また、沢山の花が植生されており、緑と花の公園の雰囲気がなってきた。 ・園内の看板も、順次、見易く鮮明なものに改修する等、様々な工夫がされている。 ・評判の良い清潔なトイレも更に緑を増やすなど工夫を続けている。 ・ボランティアの協力を得るなどで少ない費用で成果を上げている。 ・法面の手入れなど行き届かない箇所も見られるが、全体として良き環境作りで努力の跡を感じた。 ・公園とその施設を大切にしている事が伝わってきている事に感謝したい ・毎年・毎期、活動を停滞させることなく、試行錯誤で新たな取り組みを実施している点は、高く評価される。 ・職員自らの補修作業を行う積極性と、職員の潜在能力を活かした活用がNPOらしくて素晴らしい。 ・アジサイの谷や自然道の整備など、新しい取り組みもあり、よりよい公園管理を期待できる。 ・コロナ感染症が収まらない中、大規模なイベントの実施を控えた結果、来園者の減少となった。一方、団体の中には広い芝生広場を利用することで室内活動をより広い場で多くの来園者に見てもらえるようにするなど、利用団体に本公園の特徴を生かした働きかけを行っている。園内の施設に対しても園内スタッフの技量を活かして出来るだけ多くの補修作業を園内で完結する努力が見られた。園内の花の苗からの育成やトイレなどの来園者利用施設を清潔に保つなど従来からの取り組みも力を抜くことなく並行して行われている。 ・様々な専門領域出身の有能な人材がスタッフとして活動しており、高度な管理や外注費の大幅な削減にも繋がっている点は高く評価される。 ・手厚いコロナ対策が結果的に「安心な公園」として小学校などの利用増になっている。	・遊具の新規導入は大きな広場を提供出来る本公園の特徴を損なわない範囲での増加が望ましい。		

(2)多々良沼公園

評価項目		評価	個別意見・個別指摘事項等		
			評価できる点	今後検討すべき点	
維持 管理 業務	清掃	屋内	A	<ul style="list-style-type: none"> 〔清掃〕 ○屋内 ・いつもきれいである。 ・適切に清掃されている。 ・トイレがたくさんあるので、中高年は助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【清掃】 ○休憩施設 ・コロナ禍の中、密を避ける為の工夫(ベンチ)が必要と思われる。 ○遊具 ・ユーザー目線としては、遊具が少なく魅力に欠ける。 〔植物管理〕 ○中高木 ・園路内のクヌギ(ガンシユ病)の対策や、繁茂するカシノキの伐採や、生い茂るクズへの対応について、検討して頂きたい。 ・たたら杜エリアの(コナラ・クヌギ)下枝の伐採。 ○低木 ・園路内のクヌギ(ガンシユ病)の対策や、繁茂するカシノキの伐採や、生い茂るクズへの対応について、検討して頂きたい。 ・ツル性植物の除去をお願いしたい。 ○芝生 ・芝を刈る回数を増やすだけでなく、抜本的なクローバー、タンポポなどの除草作業を望む。 ○花壇 ・全体的に花が少ないので、ポイントを定めて季節にも配慮した花木や多年草、修景花壇などを増やしてもらいたい。
		屋外	B	<ul style="list-style-type: none"> ○屋外 ・来園客にゴミを拾ってもらおうシステムに挑戦している。すばらしい。 ・歩道沿いに繁茂した、敷地外の雑草の処理なども適切に実施している。 ・公園内は落葉樹が多いので、今は落ち葉がけっこう落ちているが、これも自然の風景だと思う。問題は無いと思う。 	
		休憩施設	A	<ul style="list-style-type: none"> ○休憩施設 ・ベンチが増えた。良かった。 ・適切に管理されている。 ・ベンチが増えて中高年は喜んでいる。 	
		遊具	B	<ul style="list-style-type: none"> ○遊具 ・きれいである。 	
		競技施設		<ul style="list-style-type: none"> 〔植物管理〕 ○中高木 ・高温多湿でよく伸びる季節であるため苦慮すると思うが、今後もきちんと対応頂きたい。 ・適切に管理されている。 ・季節柄、落ち葉が多く秋を感じる。これはこれで良いと思う。 	
	植物 管理	中高木	B	<ul style="list-style-type: none"> ○低木 ・良く管理されている。 ・湖畔の雑草類の刈込が行われ、水面や水面越しの遠景が楽しめるようになった点は評価に値する。 ・沼が見えるようになり大変良くなった。 	
		低木	B	<ul style="list-style-type: none"> ○芝生 ・雑草がほとんどなく高度な管理が行われている。 	
		芝生	B	<ul style="list-style-type: none"> ○花壇 ・良く管理されている。 	
		花壇	B		
		斜面地・園路沿いの植栽			
運営 業務	利用実績・運営企画	B	<ul style="list-style-type: none"> ○利用実績・運営企画 ・新型コロナウイルスの中、鋭意努力している。 ○広報・広聴 ・しっかりした掲示板があり、適切に発信していると思う。 ・来園客からもアンケートをとっており、ニーズをつかんでいる。 ・HPで情報発信している。 ・公園管理区域の実態に関しては、利用者の不満を増やさないためにも、掲示板等で実情を伝えるべきと考える。 ・掲示板があり、ホームページもやっており情報発信している。アンケートも実施しており、ニーズを的確につかんでいる。 		
	広報・広聴	B	<ul style="list-style-type: none"> ○県民の参画 ・県民の善意に訴えた、ゴミ拾いボランティアの仕組みは良い。 		
	県民の参画	B	<ul style="list-style-type: none"> ○利用実績 ・3密を避けながらの「オリエンテーリング」を提案したい。 ・コロナ禍の中で、できる範囲の活動を行っているが、もう少し屋外活動メニューが欲しい。 ○広報・広聴 ・自然が豊かな公園であることのPRをして欲しい。 ○県民の参画 ・指定管理者が核となって、関係団体との連携・協働を計って欲しい。 ・関係団体等の連携が希薄だと思うので、もっと連携をして頂く方がよいと思う。 ・昔から多々良沼を取り仕切っている漁業協同組合と、意見交換を行って見るのもよいかもしれない。 ・計画していた地域の懇談会がコロナで出来ないのが残念。 ・多数の行政区画がある土地なので、その調整役として指定管理者は期待している。行政とのつなぎとして市民団体との連携も不可欠なので、調整を期待する。 ・多々良公民館と情報交換して、多くの団体と連携すれば、いろいろイベントが出来ると思う。 		
自主事業	A	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に行っていてすばらしい。 ・野菜即売会やザリガニ釣り、青空ヨガなど、コロナ対策をしながら開催し、好評のようである。 ・外来植物の除去への取り組みなど、新たな取り組みが進められている。 ・熱中症対策としてかき氷の販売をし、猛暑日のイベントでは無料配布するなど来園者を考慮した対応はすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い雑草地を活かして「草競馬」、「草競犬」、「草競猫」、「草競豚」等を実施してみたい。 		
総合・その他	B	<ul style="list-style-type: none"> ・時が経過するごとに全体として良くなっている。 ・敷地の大半が公道に面し、かつ他の複数の公園とも接する管理の容易でない公園を、苦勞しつつ適切に管理している点は高く評価する。 ・指定管理者が入って3年。地域住民の憩いの場であり、自然の中で体力作りに一役かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い雑草地を活かして「草競馬」、「草競犬」、「草競猫」、「草競豚」等を実施してみたい。 ・管理外の区画の整備は大変だと思うが、指定管理者がリーダーシップを取らないと進まないと思うので頑張ってもらいたい。 ・園路、これからますます充実した公園(自然公園)作りを目指して努力して欲しいと思う。 ・水面の景観的な活用をさらに進めてもらいたい。 ・夕日の小径(土手)の雑草を取り除いてもらいたい。 		